

ロボットスーツ

HAL

Hybrid Assistive Limb

新しい難病治療を知ろう！

HALの健康保険適用からサバニックスイッチまで
障害者コミュニケーション支援

一般市民向け公開合同報告会

[日時]

2017.1/28 (土)

開場受付/17:45 開始/18:00 終了/20:00

[場所] JA共済ビル カンファレンスホール

<http://www.jankb.co.jp/> 東京都千代田区平河町2-7-9

山海 嘉之
Yoshiyuki Sankai

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授
筑波大学 サイバニクス研究センター センター長
内閣府ImPACT革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー
CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO



中島 孝
Takashi Nakajima

独立行政法人 国立病院機構新潟病院 副院長
医学博士 専門:神経内科学、内科学



イアノフ・アレクサンデル
Alexandr Igorevitch Ivanov

CYBERDYNE株式会社 研究員
サイバニクスイッチプロジェクトのリードエンジニア
日本学術振興会特別研究員/山海研究室メンバー



町 亜聖
Asei Machi

1995年、日本テレビにアナウンサーとして入社
"生涯現役アナウンサー"であるために2011年にフリーに転身
脳障害で車椅子生活だった母との経験から
医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動続ける



Program

『研究の推進について』
中島 孝

『サイバニクス最前線 ~人とテクノロジーが繋がる~』
山海嘉之

『サイバニクスイッチー製品紹介と実演』
イアノフ・アレクサンデル

質問コーナー『科学者に聞こう!』
川口有美子

お願い! 山海先生、イアノフ研究員の発表内容には患者情報が含まれますため、お写真・動画の撮影はできません。予めご了承ください。

主催/平成28年度日本医療研究開発機構研究費 難治性疾患実用化研究事業「希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-NHO1)を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究班」(中島班ロボット)
平成28年度日本医療研究開発機構研究費 障害者対策総合研究開発事業「進行したALS患者等を含む障害者のコミュニケーション支援機器の開発班」(中島班イッチ)
後援/NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会、NPO法人ICT救助隊

design:UBENIPPOseisaku

お問い合わせ 国立病院機構新潟病院 臨床研究部研究班事務局 [担当/牧野、小林、植村] E-mail kenkyuuhan@niigata-nh.go.jp

Tel 0257-22-2185

fax 0257-22-2130 [直通]



新しい難病治療を知ろう！



山海 嘉之

Yoshiyuki Sankai

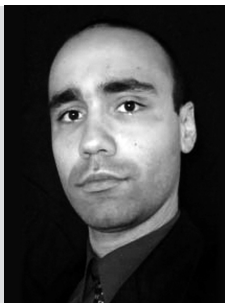
筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授
筑波大学 サイバニクス研究センター センター長
内閣府ImPACT革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー
CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO
1987年3月筑波大学大学院(博)修了。日本学術振興会特別研究員、筑波大学機能工学系助手、講師、助教授、米
国Baylor医科大学客員教授、筑波大学機能工学系教授を経て現在、筑波大学大学院システム情報工学研究科教
授。CYBERDYNE(株)CEO。Cybernetics, Mechatronics, Informatics を中心として、脳・神経科学、行動
科学、ロボット工学、IT技術、システム統合技術、生理学、心理学などを融合複合した人間・機械・情報系の新学術領
域「サイバニクス」を開拓し、人間の機能を強化・拡張・補助する研究を推進。



中島 孝

Takashi Nakajima

1983年新潟大卒。NIHフェローを経て、91年国立療養所犀潟病院、2004年より現職。神経内科学。特に神経筋
疾患、遺伝子診断、緩和ケア、Bioinformaticsなどの臨床研究に携わる。厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特定疾
患患者の生活の質(Quality of life, QOL)の向上に関する研究」の研究者として、半構造化面接を通じた患者中
心のQOL評価法SEIQoLの研究・普及に尽力している。監修書籍に『ALSマニュアル決定版!』(日本プランニング
センター)がある。



イアノフ アレクサンデル

Aleksandr Igorevitch Ianov

2015年3月筑波大学大学院(博)修了。日本学術振興会特別研究員、山海研究室メンバー、CYBERDYNE(株)
研究員、サイバニクススイッチプロジェクトのリードエンジニア。生体電位を含み生体情報の多チャンネル高精度計
測及び装着型並列処理の研究を推進。



町 亜聖

Asei Machi

小学生の頃からアナウンサーに憧れ1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、活躍の場を報道局
に移し、報道キャスター、厚生労働省担当記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを
取材。また北京パラリンピックでは水泳メダリストの成田真由美選手を密着取材。“生涯現役アナウンサー”である
ために2011年にフリーに転身。脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と
父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫から出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、
啓発活動を続ける。

*公式ブログ→http://ameblo.jp/machi-asei/

JA共済ビル[1F]カンファレンスホール

http://www.jankb.co.jp/

東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル 1F 電話03-3265-8716

access

【地下鉄】

- 東京メトロ半蔵門線・有楽町線・南北線「永田町駅」4番出口 徒歩2分
●東京メトロ銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」D出口 徒歩15分(永田町駅直結)
●東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口 徒歩15分

【首都高速道路】

- 豊ヶ岡出口より5分
※施設内に有料駐車場(地下1階)はありますが、台数・営業時間等に制限がございますので、できるだけ公共機関をご利用下さい

【羽田空港から】

- 東京モノレール「羽田空港」→「浜松町駅」JR山手線のりかえ→「有楽町駅」東京メトロ有楽町線のりかえ→「永田町駅」下車

【東京駅から】

- JR山手線「東京駅」→「有楽町駅」東京メトロ有楽町線のりかえ→「永田町駅」下車

